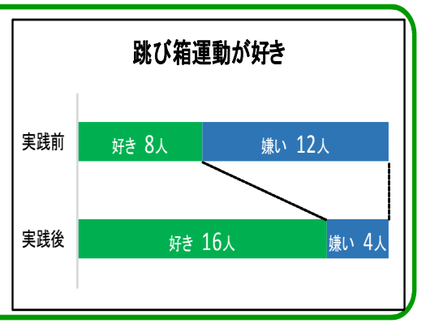
体育科・保健体育科「器械運動系」「球技系」

体育科・保健体育科学習で、ひと工夫する ～学習過程～

期待できる効果

●こんな子どもの姿を期待できます

- 運動のもつ特有の楽しさを深く味わう子ども
- 目標をもって挑戦し、最後まであきらめずに粘り強く取り組む子ども
- みんなを大切にし、チームワークよくフェアプレーができる子ども



１０小オリンピックを開こう

体育科「跳び箱運動」（第５学年）の学習で、オリンピックの視点から単元構成をしました。まず、単元の導入に、学習の動機付けとしてリオデジャネイロ大会と東京大会の開催を話題にあげ、内村選手の紹介と体操競技（美しさと難度）の説明、跳び箱運動特有の楽しさについて触れました。そして、「オリンピックを開く」という単元全体の見通しをもたせました。そして、自己決定した目標となる技の習得に向けて、課題設定、解決方法の選択、課題追求、振り返りといった一連の課題解決活動の流れで学習を進めていきました。単元の終末に、〇小オリンピックを開催しました。開会式で、曲に合わせて入場行進を行ったり、学校長が会長挨拶をしたり、選手宣誓をしたり、正式大会形式で審査をしたり、優勝を競い合ったりしました。発表会形式を大会形式にし、学校長等の参加者を加えることで、跳び箱運動やオリンピックに対する興味・関心を高め、意欲的に学習に取り組ませることができました。

２０年〇組オリンピック大会 ～バスケットボール～

体育科・ゴール型ゲーム（第４学年）の学習にオリンピックの視点から単元構成をしました。まず、単元の導入で、オリンピックの映像を視聴し、話し合って〇年〇組のオリンピック憲章をつくりました。その中にある「試合前後の礼と握手で相手への敬意」「チームの円陣でチームワーク」「敵味方に関わらず応援するフェアプレー精神」等を意識させながら学習を進めていきました。

Check!

ココがポイントです！

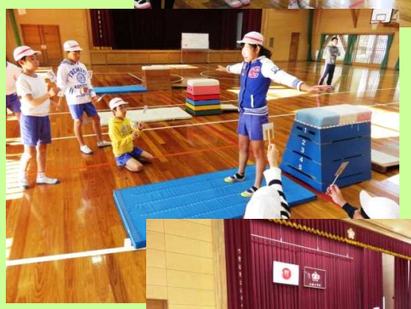
①オリンピックを単元構成に生かし、導入から終末まで単元全体の見通しをもたせて取り組むと効果的です。

②１単位時間の課題解決過程の中に、チームワーク等に焦点化して意識させるような支援「モデル提示」「喚起する声かけ」「振り返りでの共有」等も大事です。

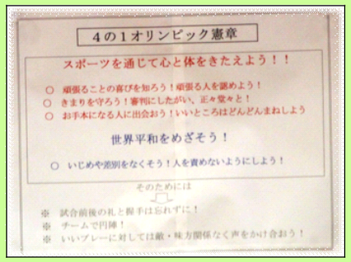
「跳び箱運動」の学習の様子

▲単元導入

▼終末の大会の様子



「バスケットボール」の学習の様子



▲自分たちでつくったオリンピック憲章

▼チームワークを意識した学習展開

「跳び箱運動」実践後の子どもの感想

〇目標に向かって挑戦する気持ちが強くなりました。
〇僕はこれまで跳び箱運動は嫌だったけど、好きになりました。